

竹村ほまれ 後援会だより

2018/01/07 No027

後援会責任者 林高文 83-0341

竹村ほまれ連絡先

携帯：090-6545-2254

HP：FB・ブログ：

竹村ほまれと入力し検索を

新年♪今年もよろしくお願ひします

昨年は皆様のご支援に支えられ、市議として2期目の折り返しを尽力し働くことが出来ましたありがとうございます。国の情勢は安倍政権の下、改憲の動きに軍拡路線の危険な企てが進行し、一方で社会保障は更に切り捨てられ「格差と貧困」の拡大が国民生活に深刻な影を落としています。駒ヶ根市政では、財政への様々な課題を克服する模索が市や議会でも取り組まれた一年でしたが、まだ道半ばの所です。新年のスタートにあたり、更に市政前進を図るため今まで以上に力を尽くし任期を全うしたいと決意しています。

二〇一八年 正月

市議会議員 竹村ほまれ

「ほまれ」の12月議会一般質問要旨

- 有利な財源をあてにした建設事業の課題
- 地域交流センター建設事業の見直しを
- 在宅生活を支える福祉サービス事業の充実を
- メガソーラー建設計画！排水設計の対応を

竹村ほまれ議員の質問

竹村ほまれ議員の質問

有利な財源、市民が望む計画となっているか

大規模なシエルトー建設を盛り込んだ「駅前広場再開発計画」又、児童発達支援施設であるつくし園を同じ建屋に併設した地域交流センターの建設「等」、有利な交付金や補助金をあてにした計画が進められているが、市民が本当に必要と認めて建設されているか。

杉本市長の答弁

理解を得て進めている

市民の皆さんや議会での「理解を得ながら調整を進めてきており、これらを見現化する計画として示したものの。

市の財政圧迫に対する考えは

有利な財源をあてにしたこれらの計画が、逆に市の財政を圧迫するのではないかと心配するが、財源の保障はどの様に考えているのか。市の財政の健全性は保たれているのか。

杉本市長の答弁

着実に改善する見通し

財源について確実に交付を受けられるよう関係機関と調整を図る中で努力をしていきたい。また3か年実施計画で示している財政計画により将来負担比率についても低下すると見込んでおり着実に改善する見通し。

2018年新年に臨む



アルプスを背に年頭あいさつ

就学援助の拡大や医療費窓口無料化に道ひらく

「ほまれ」が当市議会でも求めていた就学援助受給世帯の入学準備金が入学前に支給される様になりました。平成30年対象から

更に「子ども 福祉」医療費の窓口での無料化が当市でも実現する運びとなりました。今年8月診療分から「これは国や地方議員のこれまでの尽力や多くの市民の願いを背景に、国の政策転換もされ実現されたものですが、他市町村にも後れを取らずに実現する事が出来たのは、市民の運動はもとより、市の誠実な決断や、それを導き出す度重なる共産党議員のこれまでの働きが実ったものと目負しているところです。今後とも支給規模の拡大等・課題の克服に力を尽す所を願ひます。

竹村ほまれ議員の質問

併設されるつくし園の利用者に配慮を

地域交流センターは有利な補助事業を活用するため、公民館とつくし園が同じ建屋に併設する計画だ。事業の財源的な有利性や整備後の効率化が優先されて、発達段階の過敏な子ども達を支援する「つくし園」の役割に配慮されているのか疑問だ。

交流環境を見直すべきでは。

杉本市長の答弁

併設で危惧される

点は考慮する

赤穂公民館と併設による危惧される点は考慮する。玄関を別にし、つくし園が授業を行う時間帯の独立、相談室や訓練室の数を確保し園利用者以外は使用しない。

赤穂公民館ごとの様な形の併設であるか、今後検討していく。



竹村ほまれ議員

事業計画を考察する際、守らなければいけない事、譲れる事と譲ってはいけない事、何を一番大事にしなければいけないか等一見極めをきちんとし、今後の具体的な建設計画を展望する中で真摯に向き合っていて活かして頂きたい。

竹村ほまれ議員の質問

特殊寝台車の

輸送支援を

在宅介護にあたり、寝たきりの輸送を助ける特殊寝台車で輸送環境は、現在当市にはストレッチャを備え輸送する環境が無い。

介護者の輸送を支援する対応を図れないか。

市長の答弁

市外事業者の

参入を検討する

ストレッチャー仕様の特殊寝台車は事業者の運営面として従業員等の高齢化等により利用者ニーズに対応できていないのが現状。

安全面を踏まえつつ、市外事業者の参入を検討し市民サービスに対応していきたい。

竹村ほまれ議員の質問

福祉サービスの

充実の考えは

現在は、在宅生活における介護にしても、自治体をまわって各種施設のサービスを利用することで、介護の継続が成り立つ実態だ。

タクシー券に限らず、各種サービスは、市内に住民票をもっていれば何処の市町村の業者でも申請があれば使えるように改善するべきだ。在宅介護を支える福祉サービス充実の考えは。

市長の答弁

広域の課題として検討

それぞれの課題ごとの背景や市外の業者の状況等を考える中で、広域の課題として検討していきたい。

メガソーラー建設計画、

排水設計の対応を

竹村ほまれ議員の質問

太陽光パネル10万枚が及ぼす雨水災害の懸念

中沢のメガソーラー建設計画は10万枚のパネルが40センチに敷き詰められる計画だ。これにより雨水の浸透率は極端に低くなり、逆に流出量は極端に増大する。直下に土砂災害特別警戒区域等もあり中沢に甚大な災害を引き起こす懸念が否めない。市はどの様に対応するか。

民生部長の答弁

市も立会人となって

協定書結びチェックする

太陽光発電パネル設置で雨水の流出、治水に何らかの影響があると考ええる。県のマニュアルや市のガイドラインに沿って協議を進め、市も立会人となって協定書を締結し、十分チェックしていく。

太陽光治水対策を！

駒カシ跡地のメガソーラー計画は送電線経路を含む工事の課題も残りつつ、現在旧建屋の解体工事が進められています。一方で顕在化した排水設計の課題を放置したままパネル設置工事が進められることがあってはなりません。安全安心第一の対応が求められます。

